

第5回教育委員会（定例）議事録

1. 開 会

令和元年8月28日（水） 午後2時00分

2. 場 所

市役所本庁舎1階 101・102会議室

3. 会議に出席した委員

教育長 前川 修哉

委 員 酒井 克典

委 員 垣内 敬造

委 員 井上 友香

4. 会議を欠席した委員

委 員 中村 貴子

5. 会議に出席した職員

部 長 稲山 悟

次 長 酒井 宏

課 長 小林 康弘

課 長 森本 康幸

課 長 尾松 直樹

課 長 前中 斉

課 長 柏戸 隆弘

課 長 村上 由樹

館 長 樋口 裕昭

館 長 小林 純一

所 長 齋藤 昭

所 長 酒井 直隆

課 長 谷掛 昭二

課 長 中筋 有香

指導主事 大野 圭一

係 長 田中 真紀子

主 事 河野 元秀

6. 議事日程及び議案

別紙の通り

7. 開会宣言

午後 2時00分

8. 会 期

（自）令和元年8月28日

（至）令和元年8月28日 1日間

9. 会議録署名委員名簿

垣内 委員

10. 閉 会

午後 5時7分

<p>前川教育長 全委員 前川教育長</p>	<p>日程第 1、前回定例会議録の報告・承認について意見等はないか。 異議なし。 全員異議なしで、会議録をこのとおり承認する。</p> <p>日程第 2、会議録署名委員は 3 番垣内委員とする。</p> <p>日程第 3、会期は令和元年 8 月 28 日、本日 1 日間とする。</p> <p>日程第 4、議案に移る。議案第 1 号の「令和元年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」教育総務課説明を求める。</p>
<p>小林課長</p>	<p>《議案書に基づき説明》</p>
<p>酒井委員</p>	<p>田園交響ホールについて、1,000 万円近い予算措置となっているが、詳細を教えてほしい。</p>
<p>小林館長</p>	<p>1 月から丹波篠山市に関連がある大河ドラマの「麒麟がくる」が放送されることに伴い、市の PR に繋がるということから市を挙げて「麒麟がくる」関連のイベント等に取り組んでいる。その一環として、明智光秀の母役として出演する石川さゆり氏を招き、コンサートを開催することが決まった。石川さゆり氏のスケジュールの関係上、3 月初旬にコンサートを開催することとなったが、ポスターの印刷等様々な準備を加味し 9 月補正予算に計上する流れとなった。</p> <p>チケット収入が見込まれており不足になる部分については、地域振興基金繰入金から「麒麟がくる関連事業」として 450 万円充当する予定である。</p> <p>石川さゆり氏は、過去紅白歌合戦でも 3 回トリを務めるなど、知名度も抜群である。大きな市の PR になることが予想される。</p>
<p>稲山部長</p>	<p>「麒麟がくる」の推進アドバイザーである、元 NHK 京都放送局長で現京都府参与の山本壮太氏からアドバイスを頂戴し、今回のコンサートを企画した。</p> <p>時期に関しては、本来であれ当初予算に計上するべきものであるかもしれないが、石川さゆり氏のスケジュールの関係上 3 月の開催となったため、9 月補正予算で計上するものである。</p>
<p>酒井委員 森本課長</p>	<p>補正予算に関係ないが、学校の空調設備整備は進んでいるのか。</p> <p>中学校については、全て発注済みである。小学校については、2 校の発注が済んでおり、9 月に 4 校の発注を予定している。残りについては、設計書ができ次第、発注を順次行う予定である。1 日でも早く整備完了に向けて進めていく。</p>
<p>酒井委員 森本課長</p>	<p>空調整備後は暖房としても使用するのか。既存の暖房設備と併用して使用するのか。</p> <p>冷房暖房ともに使用できる設備を設置する。また、既存設備との併用につ</p>

井上委員	<p>いては光熱費等を考慮しながらの使用となる。</p> <p>高校では空調設備を設置しているが、あまり活用されていないようである。使用に関するルール設定をするなどし、しっかりと活用してほしい。</p>
前川教育長	<p>議案第 1 号の「令和元年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第 1 号の「令和元年度 9 月補正予算案を市長に提案することについて」を可決する。</p>
前川教育長	<p>議案第 2 号「平成 30 年度教育委員会の点検・評価について」教育総務課説明を求める。</p>
小林課長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>p. 44 の【確かな学力の確立】で「学力・学習状況調査の実績が指標を達成していない結果を踏まえ…」という記載があるが、中学校では改善されているように思う。誤解を招くので、正しく表記するべきではないか。</p>
小林課長	<p>この部分は、外部有識者が記載しており、p. 50 【3-1 確かな学力の確立】の成果指標を基に記載していると考えられる。</p>
前川教育長	<p>記載内容について事務局にて確認する。</p> <p>議案第 2 号の「平成 30 年度教育委員会の点検・評価について」異議はないか。</p>
全委員	<p>異議なし。</p>
前川教育長	<p>全員賛成で、議案第 2 号の「平成 30 年度教育委員会の点検・評価について」を可決する。</p>
前川教育長	<p>日程第 5、協議事項に移る。協議第 1 号「丹波篠山市教育研究所設立に係る基本構想について」学校教育課説明を求める。</p>
酒井次長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
井上委員	<p>研究所設立が今後の教育の発展に寄与することを大変期待している。</p>
垣内委員	<p>研究所に係るポンチ絵の色合いについて、刺激が強すぎるように感じる。研究所の設立内容が理解しやすいように表現してもらえたら嬉しい。</p>
酒井委員	<p>設立に係る基本構想は誰に対して公表するのか。</p>
酒井次長	<p>教育委員はもちろん、教職員や市民にも向けて行うものである。</p>
酒井委員	<p>非常に難解であると思う。初めて聞いた人や見た人は理解しにくいと思うので、シンプルな表現にしてほしい。</p> <p>また、p. 6 に組織体制について記載されているが、予算等厳しいこともあると思うが、適切な人員配置となるよう努めてほしい。</p>

前川教育長 稲山部長	市民にも公表されるので、平易な言葉で表現されるように努める。 人員配置については、教育委員会内で内容の精査を行いつつ、並行して人事担当、財政担当部局と協議を進めていきたい。
前川教育長	協議事項第1号「丹波篠山市教育研究所設立に係る基本構想について」を終了する。
前川教育長	日程第6、報告事項に移る。報告1「寄附採納について」教育総務課説明を求めらる。
田中係長	《議案書に基づき説明》
前川教育長	報告2「後援名義の承認について」教育総務課説明を求めらる。
田中係長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	「たんばささやま教育フェスティバル'19」は、教職員組合が実施団体であるが、政治的中立は保たれているのか。
田中係長	「教職員の教育実践の交流」、「保護者や地域住民と教育課題について考える」、「子どもたちに学びや体験の楽しさを提供する」の3つを主な目的としており、絵本作家による講演会やスーパーボールすくいなどの屋台、子どもたちの活動を写真に収めた写真展などが企画されており、問題ないと判断し承認をした。
前川教育長	報告3「第3期丹波篠山きらめき教育プラン中間報告について」教育総務課を求めらる。
小林課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	第3期丹波篠山きらめき教育プランと市の総合計画は連携が取れているのか。
小林課長	市の総合計画は今年度から策定がスタートする。第3期丹波篠山きらめき教育プランが先行して策定されるが、各関連部局と連携し、市の総合計画の内容を踏まえたプランとしていきたい。
酒井委員	具体的にどのような連携を行っていくのか。
小林課長	市の総合計画策定がスタートをしたか、していないか微妙な段階であるが、各課と情報の共有を図り、第3期丹波篠山きらめき教育プランに反映することを考えている。
酒井委員	人口や出生数の減少など社会情勢、農都についても反映したプランを策定してかなければならない。
垣内委員	5年間の中で中間見直しはあるのか。

小林課長	第 3 期丹波篠山きらめき教育プランは大まかな方向性を定めたものであり、社会的情勢の変化や施策の変更が必要となってきた場合は、毎年作成している「丹波篠山の教育」で単年度の具体を示しているの、状況が変わればそこで対応できると考えている。策定委員会では状況に応じて臨機応変に対応するよう意見いただいております、中間見直しは考えていない。
前川教育長	きらめき教育プラン内の主要事業を状況に応じて修正していくという捉え方で間違いないか。
小林課長	その通りである。
酒井委員	時代が変わり、学校が地域に開かれたものであるということ市内全体で共有していくことが重要であるとする。また、地域と学校が協力して活動していくには、社会教育の活動も非常に重要である。地域、学校、家庭が連携した教育となることを踏まえたプランを策定してほしい。
小林課長	社会教育の観点では、委員から多く意見が出ており、プラン内に反映している。
酒井委員	p. 42 の【 (4) 地域 (市民) 】内の 3 行目に「協力」と記載があるが、近年では「協働」が主に使われているので変更が必要であるとする。 p. 37 で教育の機会均等という観点で貧困についての記載があるが、問題提起の意味も含めて非常に良いと思う。 p. 10 で「全国学力・学習状況調査」の結果が取り上げられているが、平成 30 年度結果で、中学生は全て全国の平均を上回っている。これは非常に素晴らしいことである。家で学校の授業の予習・復習をしている児童生徒の割合が全国平均以上となっていることが要因の一つであるとする。ただ、今後この数値を伸ばしていくためには、予習・復習の質にも拘る必要があるとする。 p. 46 の【確かな学力の確立】で「学力向上方策の研究を進める」という表現があるが、研究を進める段階で止まっているように感じる。次のステップへ進むための方策をとってほしい。 P. 35 で健康寿命世界一と表現されているが、2018 年の発表ではシンガポールが世界一ではなかったか。確認してほしい。 学校現場の働き方改革をしっかりと行い、教員が子ども達に向き合える時間をつくってほしい。
小林課長	数値等確認を行い、修正があれば対応する。
前川教育長	報告 4「小中学校児童生徒の問題行動等について」学校教育課説明を求めらる。
尾松課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員	きめ細かな対応に感謝している。夏休み明けの 9 月に自殺が多くなり、社会問題となっているが、どのような対策を取っているのか。

尾松課長	<p>全学校で不登校や1学期中に発生したいじめ事案に該当する児童、生徒に対し、家庭訪問や電話でのケアを行っている。</p> <p>また、そういった事案に該当しないが登校に不安があると思われる児童、生徒についても学期が始まる直前に連絡を取るなどしてケアを図っている。</p>
酒井委員	<p>夏休み中の宿題ができず困っている児童、生徒がいると思うがどのように対応しているのか。</p>
尾松課長	<p>登校日の設定など詳細をすべては把握ができていないが、部活動時に宿題チェックを実施するなどの対応がなされている。</p>
酒井委員	<p>夏休みの宿題を親がするといった内容のテレビ放送を見た。夏休み中の宿題についてはどのように考えているのか。</p>
尾松課長	<p>宿題の質、量について統一した基準を持つことは難しいが、小学校長会、中学校長会や各教科の教諭間で情報の共有を行い、宿題を決定している。各学校には夏休みの宿題が、登校の妨げや児童、生徒の不安とならないよう周知している。</p>
垣内委員	<p>長期休業中は学童保育の利用が多くなる。学童保育と連携し、長期休業中の学童保育の様子を確認して9月からの指導に繋げてほしい。</p>
井上委員	<p>夏休みが明けてすぐに心理的な要因で不登校とならないようケアをお願いします。</p>
前川教育長	<p>報告5「令和元年度8月小・中・特別支援学校定例校長会について」学校教育課説明を求める。</p>
尾松課長・大野指導主事	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>全国平均の前後5ポイントを同程度と捉える理由を教えてください。</p>
大野指導主事	<p>県の表現に合わせている。</p>
酒井委員	<p>市民が分かりやすいように平均以上という表現に変えることも検討してほしい。</p>
井上委員	<p>いじめに関するアンケートが、いじめの発見に効果があることがよく分かった。学期毎に行っているアンケートをクラス毎でも良いので、いじめと考えられる事案が発生したタイミングで実施できればより効果があるのではないかと思います。</p>
前川教育長	<p>報告6「令和元年度第1学期学校給食異物混入状況について」学校給食センター説明を求める。</p>
酒井所長	<p>《議案書に基づき説明》</p>
酒井委員	<p>前年度比較が分かるような記載をしてほしい。</p> <p>異物混入について、保護者にはどのように説明しているのか。</p>

酒井所長	異物に関して調査を行い、後日学校に結果を報告している。その後学校から保護者に詳細報告がなされている。
酒井委員	野菜について虫などの混入については仕方ないと思うが、ナイロン片の混入については、調理時のマニュアルに沿った調理を行えば防げたものである。しっかりと対応してほしい。
前川教育長	報告 7「丹波篠山市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について」文化財課を求める。
村上課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員 村上課長	委嘱が4月1日となっているが、報告が8月となったのはなぜか。選出母体の役員変更等によりこの時期の報告となった。
前川教育長	報告 8「第1回篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会について」こども未来課説明を求める。
前中課長	《議案書に基づき説明》
酒井委員 前中課長	設置に関する位置づけはどのようになっているのか。 要綱による設置である。
酒井委員	教育・保育のあり方をスムーズに検討するには、事務局で方向性を決定したうえで保護者等に協議に入ってもらう方が良い。また、委員に専門家や学識経験者がいないが、協議に問題はないのか。
前中課長	専門家については、必要に応じてアドバイザー等の意見を聞くことができる要綱となっているため、対応ができると考えている。
酒井委員	当初から協議に専門家を招致しておくことが本来であると考え。要綱に定められているのであれば、専門家をしっかりと活用してほしい。 篠山・たまみず・岡野幼稚園に在籍しているのは、4歳児17名、5歳児22名である。1園で十分に対応できる園児数であり、3園を存続していくならば、人件費だけでも相当額を要する。財政的に厳しい状況であるのであれば、3園を1園に統合する案や民間に任せてしまう案も必要であると考え。幼稚園を残したいという地域の思いも重々理解できるが、園児数や財政状況等も考慮して思い切った判断も必要となってくると思う。しっかりと協議を行い良い方向を決定してほしい。
前中課長	次回の検討会では、複数案を提示し協議を行う予定である。その中で今回いただいた意見を反映していきたい。
前川教育長	平成25年10月に私立保育園2園が認定こども園へ移行する方針となり、預かり保育が不要になったことについて、一定の合意形成を得ていた。しかし、これを毎年繰り返し説明することを怠っていたことが反省点である。

井上委員	<p>計画に沿って実施してきたことだが、状況が変わっていることも確かである。今後しっかりと協議を行いたい。</p> <p>平成 24 年 3 月に策定された「篠山市幼保一体化推進計画」で記載があるように、市は長期計画で認定こども園化を目指しているということで間違いな いか。</p>
前川教育長	<p>その通りである。ただ、予算等の関係から具体的な検討までは至っていない。</p>
前川教育長	<p>報告 9「教育長報告」について報告する。</p> <p>それでは、第 5 回定例教育委員会をこれで終了する。</p>